

## 2022年度第9回2月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2023年2月21日(火)
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室  
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数9名  
返信総数1名  
出席総数8名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子
	委員	若井明香
	委員	佐子達仁

#### 4. 議 題

- (1) 朝ワイト ビタミンとちぎ内コーナー「びたとちシアター」  
4週分 放送日 1/9、1/16、1/23、1/30

- (2) 栃木放送番組基準改訂について

#### 5. 議事内容

- (1) 朝ワイト ビタミンとちぎ内コーナー「びたとちシアター」

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明： 幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる、また、ふるさと栃木への理解と愛が深められるようにと企画した番組です。地域、郷土に根ざした出版物を発行している随想舎にご協力いただき、「民話」を取り上げることにしました。声優や声優を目指す学生さんたちに、

朗読劇として届けてもらいます。民話1話完結で分かりやすく脚色し、複数の声で演じることで、より聞きやすい形式に制作しています。

各委員からは、

○栃木の民話を朗読で紹介するのはラジオ番組としてよい試みだと思う。子どもがいる家庭でもないと、民話を読んだり耳にしたりする機会はほぼない。地元の歴史を改めて知る場にもなり懐かしい気分になった。

ただ、平日昼前の設定では企画意図にある幅広い年齢が聞けるのだろうか。4回分を続けて聞いたせいか、単調な感じもした。効果音が少し入ると聞きやすいのではないだろうか。自分自身に固定観念があるのかもしれないが、民話を語るのはもっと落ち着いた声、口調のほうが安心して聞ける気がする。

栃木っぽさを感じたのが4回中、源三窟の1回ぐらいだったのは残念。毎回とは言わないが、もう少し栃木ゆかりの民話を発掘してもらい、聞きたいと思った。

○聞きやすい声で物語が入ってきた。ただ放送している時間帯が幅広く聴かせたいということであればお昼前の時間帯ではなく、違う時間帯も考える必要があると思った。

○学生たちの朗読は、聴き取り易く、話の筋も民話らしく単純でしかも脚色が少なかったことが良かった。効果音を入れたほうが良いのか？というが私はないほうが逆に想像を掻き立てられると思う。

○ラジオ番組を制作することは、学生の皆さんには良い機会だと思った。放送の時間帯などは、若い学生なのでSNSなどを使えばどこから広がるか分からないので、あまり気にはならない。ただ民話の声のトーンや話のスピードなどはこれから経験や勉強が必要なのではないか。でもこういう番組は是非続けていって欲しいと思います。

○声優さんたちの声がとても聞きやすかった。そして学生の皆さんが公共の電波を使用して作品を発表できるということは素晴らしいことだなと思いました。ただ事前にSNSなどでこの本ですということが分かればもっと面白い番組になるのではないかと思います。企画書の中でこれから朗読会などを企画していきたいとあったので是非子供たちに栃木の民話を聴かせて欲しいと思いました。

○学生の皆さんにこういう機会を与えるのは大変良いことだと思うし、学生が頑張って老人の声を出そうとしていることが微笑ましかった。BGM に関してはとても心地良かったし、効果音は沢山入れる必要はないが所々に入ると物語の理解も深まるのではないかと。聴覚情報のみだと難しい部分もあるので SNS と連携させることが必要かなと思いました。

○栃木の民話では、もっと栃木の方言を入れても良いと思いました。

○民話に触れる機会というのは、改めてこういう機会ではないのかなと思いいい企画だともおもいました。民話を聞くことで穏やかな時間を過ごせた感じがしています。地域に根差した話という意味では違った視点で聴くこともできラジオで脳が活性化された気分です。ただ放送の時間帯を考えたらいいのではないかと思います。

○ふるさと栃木の郷土の歴史を理解深めるには良い番組だと思う。若い声優さんにこういう機会を与えることは非常に良いことだと思うし、栃木放送の youtube などでもう一度聴くなど連携ができれば良いのでは。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

## (2) 栃木放送番組基準改訂について

『日本民間放送連盟 放送基準』が一部改正されるに伴い、栃木放送の「放送基準の改訂」が諮問され、「妥当である」との答申を受けました。

## 6. 審議内容

上記の通りであり、審議決定し、番組基準改定について答申を戴いた。

## 7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」  
(2023年3月5日)
- ② 当社のホームページに掲載(2023年3月3日)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2023年3月3日～)

以上